

日本語力について

日本の大学院、大学、専門学校への進学、また日本で就職を希望する方には、高い日本語力が必須となります。特に実生活で必要なコミュニケーション能力が重視されます。

母国のみで日本語を学び、直接進学や就職を目指すことは難易度が非常に高いです。そのため多くの留学生は、まず日本語学校に在籍し、生活基盤を固めながら日本語の知識とコミュニケーション力を高め、進学・就職対策を並行して行うのが一般的です。高い日本語力は、進学・就職後に活躍するための重要な鍵となります。

日本語学校について

日本語学校は入学時期に応じ、最長2年間在籍することができます。

入学期が年2回（4月・10月）の学校と、年4回（4月・7月・10月・1月）の学校に分かれます。

※申豊国際学院は年4回入学が可能です。

日本の一般的な教育年度は、4月上旬に開始し3月下旬に終了します。

日本国内で進学を予定している方は、3月に日本語学校を卒業し4月に各学校へ進学するケースが多いため、入学期によって学習期間が異なります。

（例：7月に入学した場合、在籍期間は1年9ヶ月となります）

日本語学校で授業を受けながら、進学のため別途進学塾に通う学生、アルバイトと学業を両立させる学生も多くいます。

出席率に関する規定

日本語学校の出席率は、出入国管理局の手続き及び進学出願において非常に重要です。

出席率が低い場合、進学先へ出願できなくなる、在留期間の更新が認められず帰国しなければならないケースもあります。

多くの進学先で出席率90%以上が基準となっておりますので、十分ご注意ください。